



第7次 中期計画書

令和4年度～令和6年度



 JAはくい
はくい農業協同組合

目次

Contents

JA綱領（わたしたちJAのめざすもの）	1
経営理念	2
はじめに	3
実践項目	
第1の柱（第1～第4項目）	4～5
第2の柱（第5～第8項目）	6～7
第3の柱（第9～第11項目）	8
自己改革の取り組み	9～11
各部会・団体の紹介	12～13
主な特産品の紹介（野菜・果物）	14
オリジナル商品の紹介	15
管内の施設紹介	16

J A 綱領

— わたしたち J A のめざすもの —

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。

そして地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがい追求しよう。

JAはくい 経営理念

Management Principles

存在意義

私たちは、すべての活動の原点を
「農業」「組合員」「地域」におき、
「3つの安心づくり」を目指します。



行動規範（「3つの安心づくり」のために）

- 私たちは、一人ひとりが、**「JAの顔」**として組合員・地域の声に常に耳を傾け、誠意をつくし、信頼を築きます。
- 私たちは、一人ひとりが、**「個性」**、**「情熱と勇気」**、**「仲間」**を大切にし、過去のやり方にこだわらない、創意溢れる明るい職場づくりを目指します。

はじめに

当J Aではこれまで、「安心して食べられる農畜産物づくり」「安心して暮らせる地域づくり」「安心して利用できるJ Aづくり」を経営理念に掲げ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする『創造的自己改革』に取り組んできました。

今般、農協改革について、政府は規制改革実施計画を閣議決定し、改正農協法施行後5年後見直し及び准組合員の事業利用規制については、「各J Aが組合員との対話とそれに基づく方針をJ Aの総代会で決定し、自己改革実践サイクルの構築と実践に取り組んでいくこと」とし、これまでのJ A自己改革の実績が認められた一方で、自己改革の取り組み継続が求められている状況にあります。

このような中、地域農業は依然として高齢化や担い手不足等、農業生産における諸課題が山積しており、生産基盤の縮小が避けられない状況にあるほか、コロナ禍を契機に、新しい生活様式やデジタル技術、組合員・地域住民等の価値観の変化、SDGsを始めとした持続可能な社会実現へ向けた要請の高まりなど、時代の変化とともに新たな課題も浮かび上がっており、引き続き、組合員、地域、J Aが一体となって課題解決に取り組んでいく必要があります。

このため、J Aが将来にわたって食と農を基軸とした協同組合運動を実践し、真に組合員、地域に求められる組織として在り続けるため、第7次中期計画を着実に取り組むものいたします。

実践項目

第1の柱

次世代につなぐ持続可能な農業の実現

実践方針

1. 地域農業・産地の維持・安定に向け、新しい担い手の育成・確保と持続可能な農業生産基盤の円滑な承継のため、集落営農等の組織化・連携支援に取り組みます。
2. 担い手の経営課題に応じた総合事業提案が実施できる体制を構築するとともに、トータル生産コスト低減メニュー等の提案や労働力確保対策により、農業者に対する経営支援体制の強化を図ります。
3. 農畜産物の安定生産・販売体制の構築に向けて、ニーズの変化に対応した生産振興の実践、戦略的な販売事業を展開いたします。
4. 専門化、高度化する担い手経営体への対応力を強化するため、デジタル技術を活用した営農指導体制を確立・強化するとともに、営農指導員の育成を図ります。

第1項目 「次世代総点検運動」の展開による農業基盤の維持・確立

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
営農部	①「次世代総点検運動」による農業構造の実態把握及び地域・産地の営農継続支援	実施	⇒	⇒
	② 集落営農の組織化・法人化の支援	実施	⇒	⇒

第2項目 農業者に対する経営支援体制の強化

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
営農部	① 2年3作による農家手取り最大化	実施	⇒	⇒
	② 水稲育苗センター密苗の新たな取り組み	検討	実施	⇒
	③ 園芸品目の新たな産地化（販売高1億円）	実施	⇒	⇒
	④ 新規就農者・若手農業者の経営安定化に向けた各種研修会の開催	実施	⇒	⇒
	⑤ 無料職業紹介事業を核とした農業労働力の確保	実施	⇒	⇒
経済部	⑥ 担い手ニーズに対応した資材販売	実施	⇒	⇒
	⑦ 営農用燃料利用促進による生産者の経営支援	実施	⇒	⇒
	⑧ 免税軽油制度の周知による生産者の経営支援	実施	⇒	⇒
	⑨ 安価な営農未利用車の提供	実施	⇒	⇒
金融共済部	⑩ 他部門との連携による有利な農業資金の提案	実施	⇒	⇒
	⑪ 農業リスクに備えた総合保障の提案 （農業リスク診断活動による点検・提案の実施）	実施	⇒	⇒

第3項目 はくい産農産物の安定生産・販売体制の構築

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
営農部	① 特色ある地元農産物の安定的な生産体制の確立	実施	⇒	⇒
	② 「ひゃくまん穀」ブランド化への取り組み	実施	⇒	⇒
	③ 実需者との早期契約による有利販売と農家所得の向上	実施	⇒	⇒
	④ 既存園芸作物（いちじく）に対する新たな取り組み	実施	⇒	⇒
経済部	⑤ 農家と地域住民を結ぶ購買拠点の販売強化	実施	⇒	⇒
	⑥ 消費者ニーズを意識した6次化商品の販売促進	実施	⇒	⇒

第4項目 営農指導体制の確立と実践強化

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
営農部	① デジタル技術活用による営農指導の効率化・高度化	検討	実施	⇒
	② 専門資格の取得と担い手経営体に応じた営農指導の実践	実施	⇒	⇒

組合員のメンバーシップ強化による組織基盤の確立

実践方針

1. 多様化する組合員ニーズに適切に対応するため、地域農業を担う組合員と地域農業を支える組合員の意思反映・運営参画の仕組みを構築し、満足度の向上とメンバーシップ強化を図ります。
2. 自己改革や地域の農業・食に関する訴求力の向上により、JAに対する組合員・地域住民の理解醸成と、地産地消の促進や農業応援の輪の拡大を図ります。
3. 組合員の意思反映活動を通じて寄せられた課題に対し、JA・組合員・地域組織（行政、企業、地域団体）の連携を図り、地域の活性化に向けた取り組みを実践します。

第5項目 組合員の意思反映、運営参画によるメンバーシップの強化

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
営農部	① 専任TACの担い手訪問による意見交換とニーズ把握及び意思反映 ※TAC：営農経済渉外担当者	実施	⇒	⇒
金融共済部	② 年金・共済友の会活動の活性化によるメンバーシップの強化	実施	⇒	⇒
総務部	③ 組合員の声を聴く訪問活動	検討、実施	実施	⇒
	④ 組合員の声を聴く活動の拡大（一斉アンケートの実施）	実施	⇒	⇒

第6項目 組合員学習の実践

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
総務部	① 新規加入組合員や准組合員の意思反映に向けた学習活動	検討、実施	実施	⇒
金融共済部	② 交通安全や災害予防に備えた啓発活動	実施	⇒	⇒

第7項目 広報機能を活用した自己改革の推進

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
総務部	① 広報戦略の策定と実践による広報体制の強化	実施	⇒	⇒
	② 多様な広報媒体を利用した情報発信力の強化	実施	⇒	⇒
	③ 支店から組合員への情報発信	実施	⇒	⇒

第8項目 地域の活性化への貢献

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
営農部	① 農業体験を通じた「食」の教育と施設見学	実施	⇒	⇒
金融共済部	② 地域貢献活動（農業体験・食育活動・地域課題の解消含む）の実施	実施	⇒	⇒
福祉部	③ 地域の高齢化に対応する介護サービスの質的向上	実施	⇒	⇒
総務部	④ 支店行動計画による地域交流の強化	実施	⇒	⇒



実践方針

1. 経営体質の強靱化に向けた「持続可能なJA経営基盤の確立・強化」を推し進めます。
2. ガバナンスと重要なリスクへの対応力の強化、内部統制の高度化に取り組みます。
3. 農業協同組合の理念を職員間で共有化し、組合員に貢献する意欲のある職員を育成する教育活動や職場づくりに取り組みます。

第9項目 持続可能な経営基盤の確立・強化対策の実践

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
営農部	① 共同乾燥調製施設の再編整備による経営基盤の強化	計画	実施	稼働
経済部	② 店舗運営改善による販売態勢の強化	検討	実施	⇒
総務部	③ ITを活用した業務改善	実施	⇒	⇒
	④ 経営の持続性確保に向けた改善対策の実践	実施	⇒	⇒

第10項目 早期警戒制度改正を踏まえたガバナンス・内部統制の強化

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
総務部	① JA自己改革と経営基盤強化に向けたガバナンス強化	実施	⇒	⇒
	② リスク管理委員会によるリスク管理の強化	実施	⇒	⇒
	③ 事務リスク未然防止体制とコンプライアンス活動の強化	実施	⇒	⇒

第11項目 人材育成計画の見直しと実践

主管部署	具体的実施事項	R4	R5	R6
総務部	① 組合員・利用者の期待に応えられる人材育成	検討	実施	⇒
	② 経営基盤の強化に向けた人材育成	実施	⇒	⇒

園芸総合 集出荷場

品質向上と
コストの削減



ドローン 共同防除

ドローン貸与



土づくりの 実施

収量確保対策



食育活動

地元農産物をPRする
「食べて応援活動」の
展開



自然栽培給食／西北台保育所



現地講習会

品質向上への指導



「農業生産の拡大の取り組み」

園芸作業 見学

特産物への理解



志雄子ども見学

のと里山 農業塾

特色と魅力のある
農産物づくり



展示会

ふれあいイベントの
開催



農産物品評会



「地域の活性化の取り組み」

次世代育成

学童農園事業の
取り組み



学童農園(野菜栽培) / 粟ノ保小学校



収穫体験(稲刈り) / 西北台小学校

女性部活動

助け合いのある
住み良い地域社会
づくり

和菓子づくり



各部会・団体の紹介

● そさい部会

代表者名	部会長 長濱 恵司
構成員数	20人
経営規模	西瓜 29.5ha 大根 11ha
販売額	西瓜 233,545千円 大根 53,096千円

● 押水いちじく部会

代表者名	部会長 松浦 尚輝
構成員数	38人
経営規模	7.5ha
販売額	43,527千円

● 白ねぎ部会

代表者名	部会長 北出 和明
構成員数	13人
経営規模	3.5ha
販売額	9,867千円

● ナス部会

代表者名	部会長 川場 博一
構成員数	6人
経営規模	0.2ha
販売額	1,382千円

● ハトムギ部会

代表者名	部会長 西野 純一
構成員数	17人
経営規模	20.8ha
販売額	12,661千円

● ぶどう部会

代表者名	部会長 米沢 忠尋
構成員数	31人
経営規模	7.1ha
販売額	56,322千円

● スモモ部会

代表者名	部会長 松井 良久
構成員数	11人
経営規模	2ha
販売額	3,138千円

● 志雄施設園芸組合

代表者名	生産組合長 宮本 稔也
構成員数	6人
経営規模	2ha
販売額	44,278千円

● 神子原くわい生産組合

代表者名	生産組合長 平 久信
構成員数	6人
経営規模	0.5ha
販売額	2,635千円

● 鹿島路りんご生産組合

代表者名	生産組合長 松生 幸二
構成員数	4人

● 押水花木部会

代表者名	部会長 池本 直彦
構成員数	35人
販売額	58,526千円

● のと里山自然栽培部会

代表者名	部会長 新田 聡
構成員数	42人
経営規模	15.7ha
販売額	18,072千円

● 能登米生産者協議会 はくい支部

代表者名	支部長 西野 純一
構成員数	661人
経営規模	927ha

● 担い手青年部

代表者名	部長 原 雅幸
構成員数	14人
活動内容	各種研修会、会員相互の情報交換、園芸作物の試験栽培

● 年金友の会

代表者名	連絡協議会 会長 川井 良平 羽咋支部 支部長 川井 良平 宝達志水支部 支部長 津田 保
構成員数	羽咋支部 2,850人 宝達志水支部 1,981人
活動内容	会員相互の親睦と会員の福祉向上を図るため、グラウンドゴルフ大会や健康ウォーキング等を行っている。

● 共済友の会

代表者名	委員長 渡 勝己
構成員数	617人
活動内容	会員相互の親睦と地域住民の福祉向上を図るため活動を行っている。

● 花卉生産組合

代表者名	生産組合長 宮本 雅子
構成員数	3人
販売額	91千円

● ふれあい産直部会

代表者名	部会長 猪俣 大
構成員数	167人
販売額	81,989千円

● 青年壮年部

代表者名	部長 小谷 悟
構成員数	90人
支部	押水・粟ノ保・富永・中邑知・邑知
活動内容	栽培技術講習 視察研修

● 女性部

代表者名	部長 宮崎 禮子
構成員数	348人
支部	押水・志雄・粟ノ保・富永・鹿島路 滝谷・中邑知・邑知・神子原・余喜
活動内容	食と農の活動、福祉活動 環境保全活動、組織活性化活動

● 助けあい組織たんぼぼの会

代表者名	会長 横川 泉
構成員数	77人
活動内容	介護予防教室 (ミニデイサービス等) 在宅・院内援助サービス ボランティア活動

主な特産品の紹介

豊かな自然に恵まれた当JA管内は、米だけではなく、イチジク、ブドウ、スイカ、ネギ、チンゲンサイ等も主な特産品となっています。



ルビーロマン



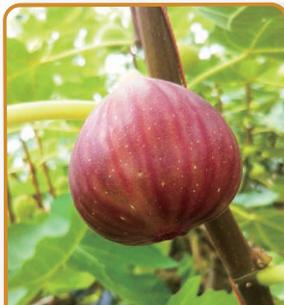
シャインマスカット



デラウェア



能登すいか



押水いちじく



黒蜜姫



スモモ



能登ミニトマト



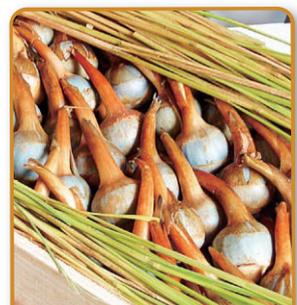
チンゲンサイ



能登白ねぎ



能登だいこん



神子原くわい



ハトムギ



エアリーフローラ



押水花木



そば

JAはくいオリジナル商品

ハトムギは古来から漢方薬の一つとして利用されてきました。高脂血症や発ガン予防など医学的効果が注目されています。さらに美白・保湿の効果があるといわれ、アンチエイジングに効果を発揮するとも言われています。

そんなハトムギを栽培しているJAはくいでは、ハトムギを使った様々な商品開発に取り組んでいます。



1 神宝天女 まるごととはとむぎ茶

里山里海の自然ゆたかな恵みを
深煎りにしました！

「世界農業遺産」に認定された能登の里山里海。

その地にある宝蓮山のふもとで育まれたハトムギを賢沢に使用。ほんのり深煎りにして、なめらかな口当たりとやさしい香ばしさのある能登のはとむぎ茶が誕生しました。ノン・カフェインなので、小さなお子様にも安心です。

2 能登のはとむぎ茶 ティーバッグ

きれい・健康は毎日の習慣から！
ご家族みなさんにお勧めです

ハトムギの5大効果「美肌効果・デトックス効果・アレルギー抑圧・整腸作用・腫瘍抑制作用」が期待できます。能登産ハトムギの殻・皮・子実の全てを使用し、独自の焙煎方法により香ばしく仕上げたハトムギ100%のお茶です。ご家族みなさんの健康維持にお勧めな飲料です。

3 神宝天女 天女の涙

石川県能登で作られた
優しい味わいの本格はとむぎ焼酎

ハトムギを原料とした焼酎は、石川県では初めての試み。ハトムギと大麦のバランスのとれた優しい味わいの焼酎は、すっきりとしたさわやかな飲み口で、麦の自然な甘みがひろがります。2014年10月に三年熟成「天女の涙」を発売しました。ゆっくりと熟成させたことで、より香り高くまろやかな味わいに。

4 自然派はとむぎ化粧品 神宝天女化粧水 神宝天女クリーム

“毎日使うものだから” 女性の声で作られた
国産無添加はとむぎ化粧品です

JAはくいでは女性職員10名でプロジェクトを立ち上げ、2011年6月「自然派はとむぎ化粧品“神宝天女”」を開発しました。世界農業遺産の地・能登でとれたハトムギを惜しみなく配合した天女シリーズは、「無添加・無着色・ノンパラベン・石油系界面活性剤不使用」の自然派化粧品です。

5 まるごととはとむぎ

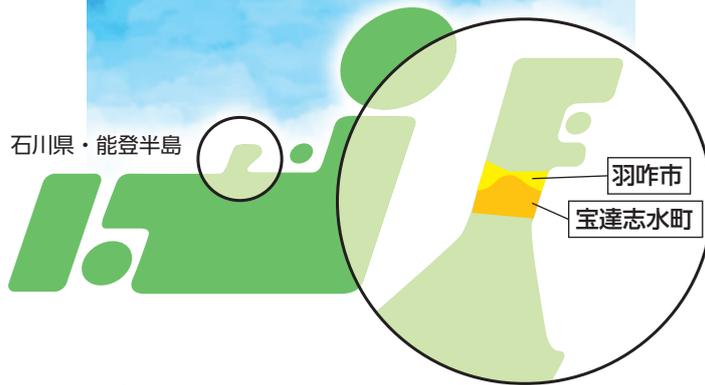
美肌に良いとされるハトムギの殻、皮、子実の全てを焙煎し粉末にしたハトムギ全粒粉です。ヨーグルトやスムージー、味噌汁などに混ぜていただくことで、ハトムギの栄養をまるごと吸収することが出来ます。

6 はくいブラウンライス

減肥料、減農薬の能登米に、無肥料無農薬の自然栽培米を1割混ぜることで、より深い味わいになっています。世界農業遺産に認定された自然豊かな能登はくいの地で、丁寧に育てられたお米を、独自の圧力技術で美味しく炊き上げた玄米を電子レンジで温めるだけで手軽に召し上がれる玄米パックごはんです。

管内の施設紹介

石川県・能登半島



羽咋市
宝達志水町

